

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	一次予防事業普及啓発・支援事業			事業コード	2102
担当課等	所属名	保健福祉部 高齢者支援室		担当係名	
	課長名	渡邊 光市	担当者名	保健福祉部 高齢者支援室 玉山千春	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	高齢社会に適応した高齢者福祉の充実	コード 4
	基本事業	高齢者福祉サービスの充実	コード 2	関連予算 費目名	介護保険費特別会計 3款 1項 4目 一次予防事業普及啓発・支援事業(元気はなまる教室)(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 平成18年度～)		
事務事業の概要	一次予防事業の対象者に、体力測定や介護予防についての講話を実施することにより、介護予防に対する意識啓発を図りながら、潜在している二次予防事業対象者の掘り起こしを行い、早期に介護予防事業につなげるとともに、市の生活機能評価より発見された二次予防対象者にも参加勧奨し、介護予防事業への参加の動機付けを図る。					
根拠法令等	介護保険法第115条の38, 地域支援事業実施要綱					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成18年4月からの介護保険法の改正に伴い、介護予防事業を積極的に推進することが、地域支援事業実施要綱に盛り込まれたため。なお平成22年8月の地域支援要綱の改正により一般高齢者、特定高齢者と言う名称が、一次予防対象者、二次予防対象者と改正された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
市民や事業関係者からは、高齢化が進む中で重要な事業であり、地域のより身近な場所で、高齢者が交流しながら介護予防ができる体制の整備が必要との意見が寄せられている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
高齢社会が進み要介護状態となる人が増加傾向にあるため、自立して生活する期間をできるだけ延長できるように、介護予防を積極的に推進することが重要であると、国で定めた地域支援事業実施要綱の中で示されており、今後も継続実施していく。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	65歳以上の市民	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 65歳以上の市民 B. 二次予防対象者数 C.	単位 人 単位 人 単位
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・募集方法 一次予防対象者の市内全域版の教室については広報により周知し、地域版については、町内会等により周知。二次予防対象者対象の教室については、個別通知。 ・場所・回数 一次予防対象者の市内全域版の教室は、2会場2回実施。地域版の教室については、会場回実施。二次予防対象者は、7会場7回実施。合計27回実施。 ・プログラム 問診・簡易体力測定・健康体操後に個別相談を実施し、介護予防事業の紹介を行う。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度同様	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 教室開催回数 B. 教室参加者数 C.	単位 回 単位 人 単位
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	介護予防について理解し、介護予防事業に参加する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 二次予防事業対象者の教室参加者のうち、介護予防事業への同意が得られた割合 【指標の性格: <input checked="" type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】 B. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】 C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位 % 単位 単位
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	日常生活を安心して不便なく送ることができる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	相談などを受けている高齢者数(単位: 人) 介護予防事業参加者数(単位: 人) 介護保険サービス利用者数(単位: 人)	

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	65歳以上の市民	人	61207	62,387	63,213	62,773	64,936		年度
対象 指標B	二次予防対象者数	人	1433	1,438	1,743	1,500	1800		年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	教室開催回数	回	31	33	34	27	34		年度
活動 指標B	教室参加者数	人	640	720	680	540	680		年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	二次予防事業対象者の教室参加者のうち、介護予防事業への 同意が得られた割合	%	48.8	42	50	50	50		年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	2,500	1,089	1,352	952	1,327		*****
財源 内訳	④国	千円		544	676	476	663		*****
	⑤県	千円		136	169	119	166		*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	2,500	136	169	119	166	0	*****
	⑧その他	千円		273	338	238	332		*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	2,500	1,089	1,352	952	1,327		*****
延べ業務時間数		時間	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200		*****
職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	0	*****
トータルコスト(A)+(B)		千円	7,300	5,889	6,152	5,752	6,127	0	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 介護予防の重要性について理解してもらうことは、自立した生活を長く続けることに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 事業に参加することにより、介護予防としての成果は認められる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 一次予防対象者及び二次予防対象者を介護予防へ導く事業であり、事業廃止により、要介護への移行が進むことになる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 地域包括支援センターで実施している健康教育や、フィットネス事業所によるなど。 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input checked="" type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない その内容: 類似事業と連動することで、介護予防事業全体の参加者を増やしていくことが期待できる。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現在、最小の費用で実施している。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 地域包括支援センターと共催したりすることで、コスト削減が見込まれる。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 広報や町内会を通じて開催の周知に努めている。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 介護予防に取り組むことは将来の介護費用の支出軽減につながるものとして、費用負担は考えていない。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 高齢者人口の増加に伴い、潜在する事業対象者も相当数見込まれることから、関係機関や地域団体、介護予防ボランティア等との連携を図るほか、より身近な会場で事業を開催するなど、参加者数の増加に取り組む。また、類似事業との連動に取り組む、介護予防事業全体の参加者を増やしていく。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 類似事業との連動が図れるよう、関係機関や地域団体がどのような活動を実施しているかを把握し、連携調整を図っていく。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>○ 妥当</td> <td>● 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>○ 妥当</td> <td>● 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり	③ 効率性	○ 妥当	● 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>介護予防の取組みとして、事業の必要性は高い。成果向上のためには、事業への参加者を増やす必要がある。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり												
③ 効率性	○ 妥当	● 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												

今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>地域包括支援センター等関係機関との連携を強化し、事業参加者の増加や市民ニーズに沿った事業内容への見直しに取り組む。</p>	<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う				<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									